

**福島復興本社における
賠償・環境再生・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～**

○原子力損害賠償の進捗状況	_____	1 ～ 2
○福島復興に向けた取り組み実績	_____	3
○復興推進に関する取り組み	_____	4
○流通促進に関する取り組み	_____	5 ～ 7

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

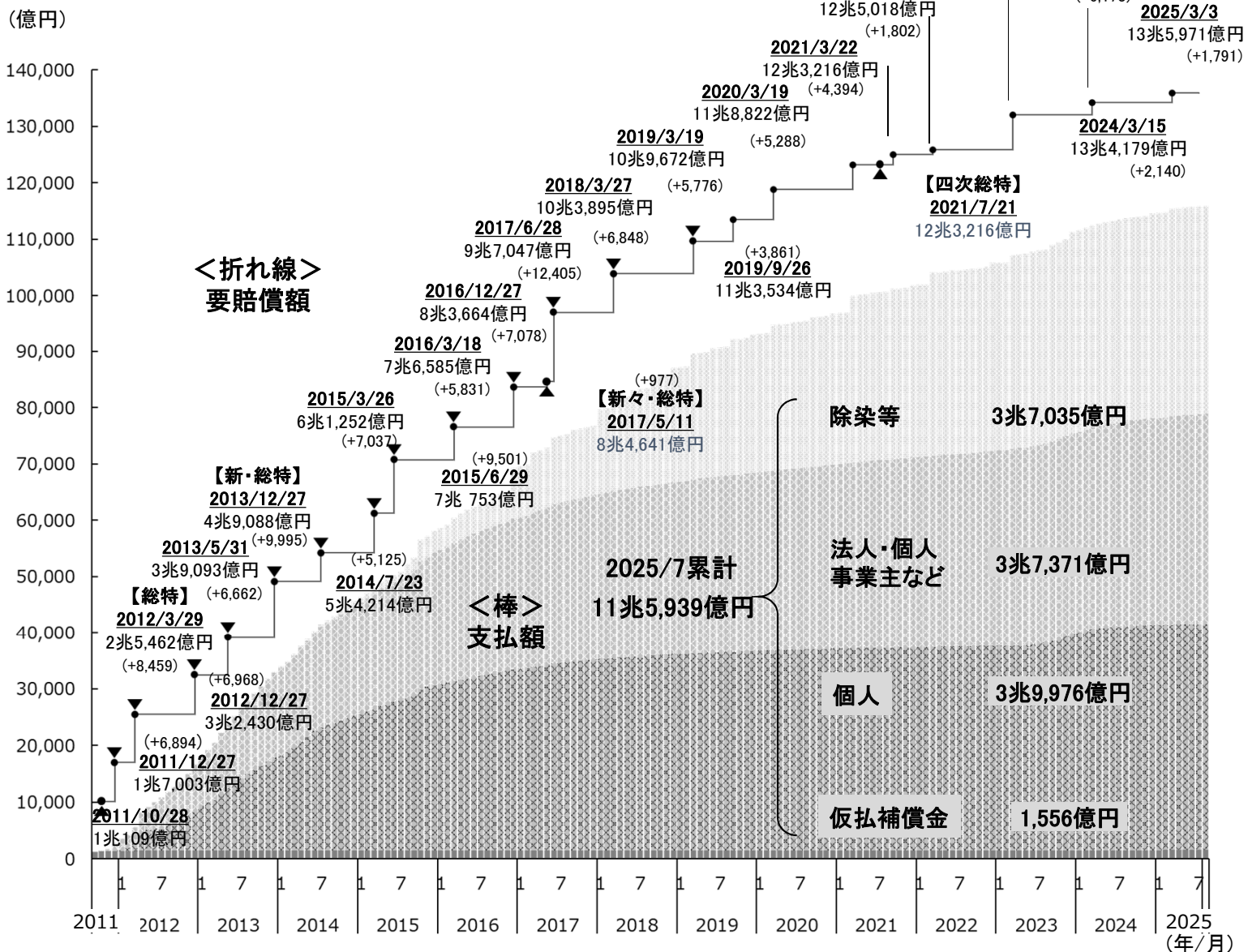
2025年8月29日現在

	個人※ ¹	法人・個人事業主など※ ³
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約3,351,000件	約585,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約3,127,000件	約499,000件
本賠償の金額※ ²	約3兆9,976億円	約7兆4,406億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額※ ²	約11兆4,382億円 ①	
仮払補償金	約1,556億円 ②	
お支払い総額	約11兆5,939億円 ①+②	

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

※3 除染等費用を含んでおります。



＜賠償項目別の合意金額の状況＞

	要賠償額<A> (2025年3月3日資金援助額変更申請)	賠償合意実績※1 (2025年8月末現在)
I. 個人の方に係る項目	24, 884億円	23, 798億円
検査費用等	3, 559億円	2, 939億円
精神的損害	13, 661億円	13, 387億円
自主的避難等	4, 912億円	4, 728億円
就労不能損害	2, 751億円	2, 743億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	36, 123億円	34, 703億円
営業損害	5, 610億円	5, 615億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	20, 940億円	21, 120億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3, 448億円	2, 678億円
間接損害等その他	5, 388億円	5, 289億円
III. 共通・その他	22, 729億円	20, 382億円
財物価値の喪失又は減少等	15, 653億円	15, 071億円
住居確保損害	6, 826億円	5, 061億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※2	52, 233億円	37, 035億円
合計	135, 971億円	115, 920億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

【B／A 85%】

＜ご案内を開始している主な賠償項目＞

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 〔・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅、一時立入費用 ・生命、身体的損害 等 〕	9月:法人本賠償 〔・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等 〕
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 、 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 、 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 、 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2022年		12月:ALPS処理水放出に伴い風評被害等が発生した場合の賠償
2023年	3月:中間指針第五次追補決定等を踏まえた精神的損害等に対する追加の賠償	
2024年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

＜ADRの対応状況＞

2025年8月29日現在		
申立件数		31,675件
解決件数	全部和解件数	30,959件
	取下げ件数	24,564件
	打切り件数	3,662件
	却下・和解の仲介をしない	2,731件
		2件
現在進行中の件数		716件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは31,557件(8月29日現在)、月平均で約68件(2025年)

※現在進行中の件数のうち、30件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,645億円

出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

福島復興へ向けた取り組み実績

■ 2025年度の実績（4月～8月）

環境再生・復興推進活動



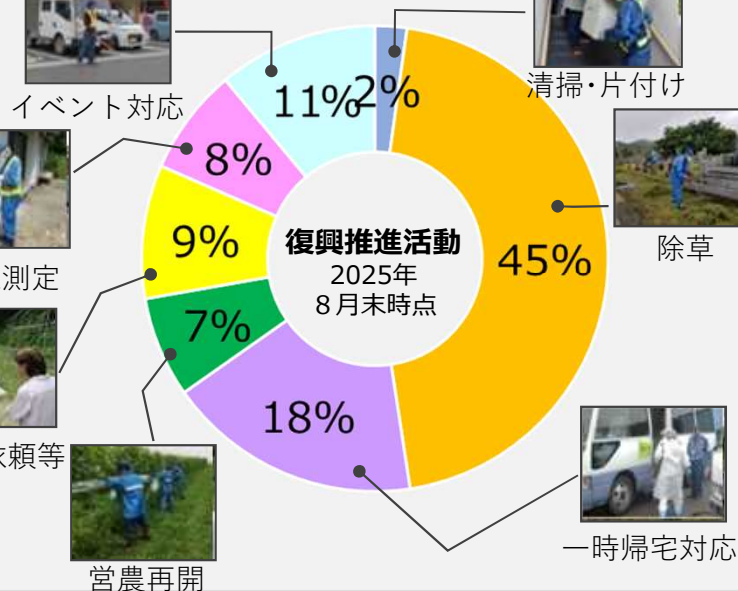
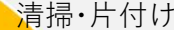
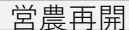
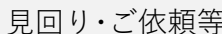
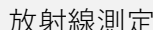
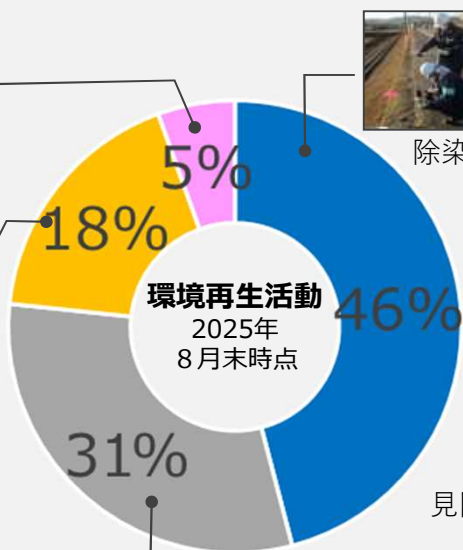
原子力損害賠償



イベント開催数
174回



中間貯蔵



【凡例】【環】…環境再生活動 【復】…復興推進活動 【流】…流通促進活動 【他】…その他

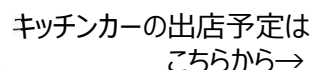
【流】10月の福島県産品販売会・イベントの主な開催予定

- ①ふたばフードフェス2025（双葉町）
- ②KITAIZUMI SURF FESTIVAL2025
- ③手ぶらでBBQ in 四季の里様
- ④浜フェス2025（浪江町）
- ⑤手ぶらでBBQ in 四季の里様
- ⑥わくわく市場まつり（福島市）

10月 4日(土)~10月 5日(日)
10月 4日(土)
10月11日(土)~10月12日(日)
10月12日(日)~10月13日(月)
10月25日(土)~10月26日(日)
10月26日(日)

⑦松坂屋上野店様

⑧ サカナバッカ6店舗様	10月10日(金)～10月16日(木)
⑨ 小田急百貨店町田店様	10月15日(水)～10月21日(火)
⑩ 小田急百貨店新宿店様	10月31日(金)～11月 2日(日)
⑪ 全国ふるさとフェア2025 (横浜)	11月 1日(土)～11月 3日(月)
・西日本 (広島)	
⑫ HIROSHIMAフードフェスティバル	10月25日(土)～10月26日(日)



福島復興へ向けた取り組み②

地域イベントのお手伝い

取組内容

- 地域でイベントが開催され、当社は会場設営や、駐車場誘導のお手伝いを行いました。
- 今後も、地域の賑わい創出の一助となるよう、地域に寄り添った取り組みを継続してまいります。

■ 浪江町「第1回なみえ大運動会」「東北やきそばサミット2025 in なみえ」

- 9月27日に「第1回なみえ大運動会」がふれあいセンターなみえにて開催され、27日から28日には「東北やきそばサミット2025 in なみえ」も開催されました。
- 各主催者からお声掛けいただき、会場設営、駐車場誘導のお手伝い、運動会競技へも参加させていただきました。



なみえ大運動会



東北やきそばサミット



駐車場誘導

■ 双葉町「第59回双葉町町民体育祭」

- 9月27日に「第59回双葉町町民体育祭」が開催され、双葉町からお声掛けいただき、会場設営、駐車場誘導のお手伝いを行いました。
- 当社社員も、地域の皆さまと一緒に競技へ参加させていただきました。



体育祭競技の様子



駐車場誘導

福島復興へ向けた取り組み③

福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催～



県内での交流会参加報告

第2回JAグループ福島「GAP交流会」への協力

GAP (Good Agricultural Practice)とは

自然環境・生産者・消費者に配慮した農業を実践することを目的に、農業の生産工程を適切に管理する一連の取り組みのことです。GAPを導入することで、食品の安全性を確保し、消費者への信頼確保や農業経営の改善、持続可能な農業の実現が期待できます。

日 程

9月5日(金) 11:00～15:00

場 所

福島県郡山市中町3-1 郡山ビューホテル

特 色

- ・ JAグループ福島の「GAP交流会」に参加しました。
- ・ 福島県とJA福島中央会は、2017年に「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を行い、安全性が客観的に担保された農畜産物を安定的に消費者にお届けするとともに、「GAPによる持続可能な農業の実現」を目指してGAP認証の取得に取り組まれています。
- ・ 当社は、流通促進活動にご協力いただいている青果専門店、卸事業者、福島県のトップブランド米である「福、笑い」を扱う卸・小売業者、給食事業者、グルメフェアに参加の飲食店など8社にも参加を呼びかけ、GAP認証農産物の販路拡大に向けた商談に協力しました。
- ・ 参加者からは、「JAグループ福島と交流する良い機会となった」、「GAP認証を取引に当たっての参考にしたい」などのコメントをいただきました。
- ・ 11月に東京都世田谷区二子玉川で開催予定のイベントでは、GAPに関する展示やGAP認証農産物の販売を通じて、消費者の認知度向上を図ります。



情報提供・事例紹介



交流会



料理試食会

アスパラガス
キュウリ
南郷トマト

なし

ぶどう



料理試食会

福、笑いのおにぎり

会場の様子

福島復興へ向けた取り組み④

福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催～



県内での福島県産品のPRイベント

「LIVE AZUMA 2025」への出店

日程 10月18日(土)～10月19日(日) 9:30～20:00

場所 福島県福島市佐原字神事場1番地 あづま総合運動公園

4回目の出店

特色 音楽と食の県内最大級のフェス「LIVE AZUMA 2025」と連携し、会場内の「FUKUSHIMA FOOD PARK」エリアにて、福島県内6事業者が出店し、福島県産品を使ったメニューを提供することで会場を訪れた方へ福島県産品の美味しさと魅力をPRします。

当社から出店のお声がけした事業者(順不同)

事業者名	主な提供メニュー(予定)
福島和牛	福島牛ソーセージ 福島牛コロコロステーキ
福島県養豚協会	福島県産豚ローストポーク シロコロホルモン
おむすび専門店「えん」	会津坂下町の新米コシヒカリを使用したおにぎり (じゃこ山椒七味、常磐もの漬けひらめ 他)
麺処ひろ田製粉所	常磐煮干し濃厚まぜそば 白河高原清流豚の台湾魯肉飯
おのざき	常磐ものたっぷり海鮮丼 メヒカリ唐揚げ
果汁工房果林	シャインマスカットジュース 桃ジュース



昨年の様子



画像はイメージです

ふくしま まるごとグルメフェア

日程 10月14日(火)～10月26日(日) **場所** 福島市内

17店舗で開催
(3回目の開催)

特色

- 「LIVE AZUMA 2025」開催に合わせて、福島市内17店舗の飲食店でグルメフェアを開催し、福島を訪れる方へ福島県産品の美味しさと魅力をPRします。
- 期間中、「チラシ・SNS等を見た」とお申し出の方に、発見! ふくしまグッズをプレゼントします。(※無くなり次第終了)



画像はイメージです

店舗名	住所	フェア取扱品
ナカヤノトナリ	置賜町4-21	お酒類
パールアヴェニール	置賜町5-10 第2 清水ビル3F	青果【果物・野菜】
ミナモカフェ	万世町5-1	青果【果物・野菜】
生パスタのお店 REGALO CAFÉ	本町1-2	青果【果物・野菜】
しぞーかおでん お茶の間	陣場町8-16	常磐もの【海鮮】
鮎割烹 陽華	置賜町8-19 第一清水ビル1F	海鮮・穀類
喜久寿し	渡利字柳小路59-1	海鮮・穀類
蕊(はなしべ)	置賜町5-19 加藤ビル2F	畜産【お肉】
ラ・ボッカ・デッラ・ベリタ	本町2-8 リードパセオビル3F	畜産【お肉】
中国料理レストラン泰山	栄町11-25 AXCビル	畜産・穀類
角打ちビストロ 蔵ひろ	新町8-41	畜産【お肉】
精華苑	大町4-15	畜産【お肉】
ビストロ ミカサ	福島市置賜町5-10 第2 清水ビル	畜産・穀類
旬鮮香房 たわわ	置賜町8-14	畜産【お肉】
Curry and Spice dishes 笑夢	森合西養山1	畜産・穀類
Trattoria Baccano(バックカーノ)	早稲町4-16 ラヴィバレー番丁2F	畜産【お肉】
和肴ごとく	新町3-13	畜産【お肉】

福島復興へ向けた取り組み⑤

福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催～



首都圏での福島県産品のPRイベント

「ふくしま満彩! グルメフェア Autumn」

30店舗以上で開催
(開催は9回目)

日程 10月17日(金)～11月9日(日)

場所 地図、店舗情報については特設サイトに掲載



特設サイトはこちら



フェアメニュー注文で、上記ステッカープレゼント

開催店舗・フェアメニュー取扱品目				初: 初開催店舗	継: 夏フェアからの継続店舗				
店舗名	牛	魚	米			店舗名	牛	魚	米
初 bar a vin ROTI				継		おでん割烹 日南乃			
初 おうどん 銀座うらら		○		初		中野青二オ			
初 羅豚 ギンザ・グラッセ		○		初		青二オはなれ			
継 数寄屋橋公会堂				初		角打ち割烹三才			
鯨の胃袋						呑み食い処うおひで	○	○	
継 四ツ谷はらくっち				初		Ω CAFE (オーカフェ)	○		○
初 Suginoko		○		初		九州酒場つくしラ チッタデッラ		○	
継 Alberini	○			継		日本料理 鯉之助	○		○
継 神楽坂 ほたる燈		○				牛国屋 吉野町店			
東北居酒屋 奥羽の宴						牛国屋 西大宮店			
継 ひ暮らし						牛国屋 ふじみ野店			
継 ワイン食堂ゴッチス						黄金の牛 宮原店			
継 Tefu						黄金の牛 上尾店			
継 魚波		○				炭火焼肉天龍			
初 GAIA				そのほか調整中につき、特設サイトを随時更新します					



画像はイメージです

※フェアメニューは現在開発中です

特色

- 新規参加の10店舗を加えた30店舗以上の飲食店で開催します。(一部調整中)
- 福島牛や常磐ものをはじめとする福島県産の旬の食材をふんだんに使い、秋ならではの彩り豊かなメニューを首都圏のみなさまにお届けします。

【グルメフェア参加飲食店向け】桃、米、お酒の産地見学会の実施

日程 9月2日(火)～9月3日(水)

場所 福島県内 桃農家、米農家、精米工場、酒蔵

初の取り組み

特色

- 秋のグルメフェアに参加を検討している飲食店等から希望を募り、産地見学会を行いました。
- 2日間の工程で、桃農家、米農家、精米工場、酒蔵を見学しました。
- 参加者から、「来夏に向け、福島県産の桃を使用したデザートメニューを考えている」、「生産者からお米作りの工夫やご苦労を直接聞いたのはとても良かった」との感想をいただきました。
- 産地見学会をきっかけに、新たなメニュー開発や、秋のグルメフェアへの新規参加等販路拡大につながっています。



見学の様子